１級実地試験（平成30年度学科試験合格者に限る。）
平成30年10月４日（木）～10月19日（金）
２級学科試験（前期）
平成30年３月７日（水）～３月22日（木）
２級学科試験（後期）
平成30年７月17日（火）～７月31日（火）
２級実地試験
平成30年７月17日（火）～７月31日（火）
２級学科及び実地同日試験
平成30年７月17日（火）～７月31日（火）

7　申込受付方法
簡易書留郵便による個人別申込みとし、締切日までの消印のあるものまで有効とする。

8　申込書類
⑴　受検申請書及び受検申込書
⑵　住民票（住民票コードの記入を含む。）又はそれに代わる書面
⑶　写真１枚（縦4.5cm×横3.5cm、申請前の６月以内に撮影したもの）
⑷　受験手数料振替払込受付証明書
⑸　学校卒業証明書（写し不可）
⑹　１の受検資格に応じて必要な資格証明書等（２級管工事施工管理技術検定合格証明書の写し、１・２級技能検定合格証明書の写し、専任の主任技術者経験を証明できる工事請負契約書の写し及び施工体系図等の写し、技術士登録証の写し等）
⑺　２級管工事施工管理技術検定・学科試験合格通知書の写し（２級学科試験の免除者のみ）

9　受検申込用紙等の販売
⑴　販売開始日
１級学科試験・実地試験　平成30年４月16日（月）
１級実地試験　平成30年４月16日（月）
２級学科試験（前期）　平成30年２月23日（金）
２級学科試験（後期）　平成30年７月９日（月）
２級実地試験　平成30年７月９日（月）
２級学科及び実地同日試験　平成30年７月９日（月）
⑵　上記販売開始日から、研修センター及び全国の委託機関にて販売する。（金額及び全国の委託機関先については、研修センターに問い合わせのこと。）
⑶　郵送請求の場合は、送料と共に現金書留にて、級別、必要部数及び管工事試験と明記のうえ研修センターに請求のこと。
⑷　コールセンター並びにインターネットによる請求も可、詳細は研修センターのホームページを参照のこと。

10　申込書類提出先　一般財団法人全国建設研修センター管工事試験課　〒187―8540 東京都小平市喜平町２―１―２　電話042―300―6855

11　合格発表
１級学科試験　平成30年10月４日（木）
１級実地試験　平成31年２月22日（金）
２級学科試験（前期）　平成30年７月９日（月）
２級学科試験（後期）　平成31年１月18日（金）
２級実地試験　平成31年２月22日（金）
２級学科及び実地同日試験　平成31年２月22日（金）

以上について、研修センターから本人あて文書で通知するほか、研修センターホームページにおいて公表を行う。また、１級及び２級試験（学科及び実地同日試験・実地試験）では、国土交通省各地方整備局、北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局において当該地区内で受検した者の受験番号を掲示する。

12　２級管工事施工管理技術検定学科試験・実地試験の免除申請
⑴　免除を受けることができる者　研修センターが実施した昭和63年度までの２級管工事技術者試験に合格した者又は平成14年度までの２級管工事施工管理技術研修の修了試験に合格した者
⑵　提出書類
イ　受検申請書
ロ　２級技術検定試験全部免除申請書
ハ　合格証明書（前記の⑴に規定する試験に合格したことを証する書面とする。）
ニ　写真１枚（縦4.5cm×横3.5cm、申請前６月以内に撮影したもの）
⑶　申請の受付期間　平成30年７月17日（火）から７月31日（火）までとする。ただし、郵送によるときは受付期間内の消印のあるものに限り受け付ける。
⑷　申請書類の郵送先　〒187―8540 東京都小平市喜平町２―１―２　一般財団法人全国建設研修センター

13　合格証明書の交付　交付申請者及び免除申請者に対し、平成31年３月下旬に合格証明書を交付する。

14　その他　試験の詳細については、研修センターの発行する「受験の手引」又は研修センターのホームページを参照のこと。

平成30年度１級造園施工管理技術検定及び２級造園施工管理技術検定の実施について

平成30年度１級造園施工管理技術検定及び２級造園施工管理技術検定の実施について、施工技術検定規則（昭和35年建設省令第17号）第３条の規定により、次のとおり公告する。

平成29年12月19日　国土交通大臣　石井　啓一

1　受検資格
⑴　１級造園施工管理技術検定・学科試験　次のイ、ロ、ハ、ニ、ホのいずれかに該当する者

<table>
<tr><th rowspan="2">区分</th><th rowspan="2">学歴又は資格</th><th colspan="2">造園施工に関する実務経験年数</th></tr>
<tr><th>指定学科の卒業者</th><th>指定学科以外の卒業者</th></tr>
<tr><td rowspan="5">イ</td><td>大学卒業者
専門学校卒業者（「高度専門士」に限る）</td><td>卒業後３年以上</td><td>卒業後４年６月以上</td></tr>
<tr><td>短期大学・高等専門学校卒業者（注10）
専門学校卒業者（「専門士」に限る）</td><td>卒業後５年以上</td><td>卒業後７年６月以上</td></tr>
<tr><td>高等学校・中等教育学校卒業者（注11）
専門学校卒業者（「高度専門士」「専門士」を除く）</td><td>卒業後10年以上（注９）</td><td>卒業後11年６月以上（注８、９）</td></tr>
<tr><td>その他の者</td><td colspan="2">15年以上</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ロ</td><td>２級合格後３年以上の者</td><td colspan="2">合格後１年以上の指導監督的実務経験及び専任の監理技術者による指導を受けた実務経験２年以上を含む３年以上</td></tr>
<tr><td>２級合格後５年以上の者</td><td colspan="2">合格後５年以上</td></tr>
<tr><td>短期大学卒業者
高等専門学校卒業者</td><td></td><td>卒業後９年以上</td></tr>
</table>